

11月定例記者会見の概要

1 日時 令和5年11月7日(火)10時00分～11時00分

2 場所 本庁舎3階 第一会議室

3 出席者 <報道機関>

- ① 河北新報社 南相馬支局 (南相馬記者クラブ会員)
- ② 朝日新聞社 南相馬支局 (南相馬記者クラブ会員)
- ③ 読売新聞社 南相馬通信部 (南相馬記者クラブ会員)
- ④ 福島民友新聞社 相双支社 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑤ 福島民報社 南相馬支社 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑥ NHK 南相馬報道室 (南相馬記者クラブ会員)

計 6 社

< 市側 >

・市長・総務部長

(テレビ会議)

- ・小高区役所長・鹿島区役所長・復興企画部政策担当理事
- ・市民生活部長・健康福祉部長・こども未来部長
- ・商工観光部長・商工観光部企業立地担当理事
- ・農林水産部長・農林水産部整備担当理事
- ・建設部長・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 15 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報広聴係

【市政報告】

はじめに、南相馬市総合防災訓練についてです。

11月1日に、令和元年東日本台風クラスの風水害を想定して市総合防災訓練を実施いたしました。

今回初となるペット同行避難を含めた避難訓練や、要配慮者の避難スペースを意識した避難所の開設訓練、災害ボランティアセンターの開設立上げ訓練などを行い、申し込みのあった市民や行政区をはじめ、防災士や関係機関など 延べ

1, 183名の方にご参加いただきました。

次に、個人・団体の受賞についてです。

9月から10月にかけて、市内で活動する個人や団体の皆様の受賞に関するニュースが続きました。

9月26日には、鹿島区の大谷知徳様が令和5年度JAグループ福島肉用牛共進会において、最優秀賞の農林水産大臣賞を受賞され、10月22日には、バー

「ウィザード」の草野聡様が全国バーテンダー技能競技大会で総合優勝を収められました。

ご紹介した皆様以外にも数多くの受賞報告をいただいております、改めてお祝い申し上げます。

次に、プレスリリースアワード2023の受賞についてです。

10月26日に、プレスリリース配信などを行う「PR TIMES」主催によるプレスリリースアワード2023の授賞式が執り行われました。1,161件のエントリーのうち、10件が受賞となり、本市は、地元の魅力を内外へ広げることにも最も貢献したプレスリリースに贈られる「ローカル賞」を受賞しました。本年2月に配信した「巣立ち応援18歳祝い金支給事業」に関するプレスリリースが評価されての受賞です。プレスリリースアワードで自治体が受賞するのは全国初となります。

本市は、本年2月に宝島社「田舎暮らしの本」の2023年版住みたい田舎ランキングで県内1位、東北エリア2位に選ばれ、7月19日には「第4回日本子育て支援大賞2023」の自治体部門を受賞するなど、市を挙げたこども・子育てに関する様々な施策が徐々に多くの方々に評価されてきているのだと考えています。今後も、地域社会全体で連携・協力しながら、子育て世帯を応援し「こどもたちの笑顔がかがやくまち」の実現に向け、こども・子育てを本気で応援してまいります。

次に、市表彰式についてです。

11月3日に令和5年度南相馬市表彰式を開催いたしました。多年にわたり市勢の進展に寄与され、公共の福祉に貢献された皆様の功績をたたえ、34名の方々と3団体の皆様を表彰しました。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

はじめに、行政区への加入促進についてです。

11月は行政区加入促進月間です。市区長連絡協議会と市は、行政区加入促進街頭キャンペーンを11月2日に原町区の南相馬ジャスモールで行いました。今後11月9日に小高区のダイユーエイト小高店、11月27日に鹿島区のフレスコキクチ鹿島店で行う予定です。

また、11月16日には、3行政区と1地区の区長が地域の課題や独自の事業を発表する行政区地域活動事例発表会をサンライフ南相馬で開催いたします。

この機会により多くの皆様に、行政区の取り組みや重要性についてご理解いただき、地域のつながりや支えあいの輪に加わっていただけるよう周知に努めてまいります。

次に、事業者支援・市民生活応援事業の抽選会についてです。

実行委員会による事業者支援・市民生活応援事業の大抽選キャンペーンは10月31日で応募を締め切り、応募総数については去年の57万通を超え、約65万通となる見込みです。

当選本数1万本となる抽選会は11月10日に行う予定です。当選者には後日、参加店舗で使用できるのまたん商品券を郵送いたします。楽しみにお待ちしております。

次に、農業人材育成に係る連携協定締結式についてです。

市では11月13日、農業人材の育成に実績がある株式会社マイファームと、農業人材の育成や確保、地域農業者連携などに関する連携協定を締結いたします。

本市の基幹的農業従事者は震災前の平成22年の約2,900人と比べて震災後の令和2年には約770人と、約73%減少しました。

また、本市の農業者の高齢化も進んでおり、地域農業の持続的な発展のためには、新たな農業人材の確保・育成が重要となっています。

今回の協定による協働の取り組みを通じて、今後、より一層の農業人材の確保・育成に努めてまいります。

次に、秋のイベントについてです。

11月18日及び19日にひばり生涯学習センター文化・芸能発表会、11月25日及び26日にひがし地区文化祭・冬まつりを予定しています。

また、毎年恒例となっている冬のライトアップについては、鹿島区の楓姫もみじ祭りライトアップが11月17日から23日まで、小高区のあかりのファンタジーイルミネーション in おだかが11月18日から令和6年1月8日まで開催されます。

次に、金婚祝賀会についてです。

11月22日に、ホテルラフィーナで、結婚50年を迎えるご夫婦をお祝いする金婚祝賀会を開催いたします。

この度金婚を迎える皆様のご結婚された昭和48年は、第一次オイルショックが起こるなど激動の時代でした。

そのような時代にあっても手を取り合って苦楽を共にし、励まし助け合いながら、半世紀の長い年月にわたって家庭を支えてこられた皆様にお祝いを申しあげるとともに、末永いご多幸を祈念いたします。

最後に、相馬野馬追執行委員長として、国重要無形民俗文化財「相馬野馬追」の開催日程の変更についてご報告いたします。

10月17日付で文化庁より、異議はないとの回答がありました。

このことを受け、11月3日に相馬野馬追保存会と相馬野馬追執行委員会の総会を開催し、日程の変更案を正式決定しました。5月開催に向けて、日程の周知等必要な準備を進めてまいります。

【質疑応答】

質問 1:

相馬野馬追の開催日程が前倒しとなるにあたり、これまでの周知方法と異なる点や、今後力を入れて周知していくことなどを教えてください。

回答 1：市長

開催日程が5月へ前倒しされることで、以前から5月に行っていた行事との調整が必要です。また野馬追へ出陣する方の準備等も必要になると考えています。

また、今年は外国人の方も多くお越しいただきました。千年の歴史を持つ、世界に誇れる神事と捉えていることから、国内外の皆様に向けたPRに努めます。また、多くの方にお越しいただく機会を増やすという面では、旅行会社への周知活動も行っていきたいと考えています。

質問 2:

相馬野馬追の日程変更が正式に決まったことで、市民をはじめとした周囲の方々からどのような反応がありましたか。

回答 2：市長

涼しい時期での開催となったことについて、多くの皆様からは「良かった」との声を頂いています。

一方で、相馬野馬追は神社に供奉する形で騎馬が出場する神事ですので、三社の関係者のご協力が欠かせません。神社の関係者からは日程変更に関わらず、協力者の確保が大変と伺っております。

また、これまでご協力いただいた各事業所や学校からは、日程変更について早く具体的に教えてほしいという声も寄せられておりますので、しっかりと進めていきたいと考えています。

質問 3:

市消防団の報酬未払いに関する一部報道がありました。市ではどのように受け止めていますか。

回答 3：市長

報道があったことは伺っております。消防団の報酬は、2021年までは明確な規定がなく、団員の報酬を一括して取り扱う分団があったことも事実です。そのような状態は好ましくないことから、報酬の水準や支給の手続きなどを見直し、改正を行いました。

今回は、改正前の事案が報道されたもので、報告があったのちに詳細を調査して対応しました。地域などによって報酬の取り扱いが異なっていたことから、改正してよかったと考えています。

以上